

第9回資源評価結果説明会

【議事要旨】

○日時：令和5年7月6日（木）13:00～16:30

○場所：TKP 札幌駅カンファレンスセンター（WEB 併用）

○魚種：ソウハチ北海道北部系群
マガレイ北海道北部系群

○概要：

ソウハチ北海道北部系群、マガレイ北海道北部系群の資源評価結果について、当該水産資源の関係者を主な対象とし、公開で説明会を開催した。

本説明会では、国立研究開発法人水産研究・教育機構から水産資源ごとの資源評価結果の説明が行われ、これに対して参加者から質問・意見等があり、活発な議論が行われた。主な意見等は以下のとおり。

1. ソウハチ北海道北部系群

- ① 資源の利用実態（例：低い魚価により必ずしも本資源を狙って漁獲していない、大型になる雌を中心に利用されている）や、小型魚の獲り控え等の自主的管理の取組の効果が、資源評価の中で考慮されていない懸念があり、この点を丁寧に説明するとともに、改善してほしい。
- ② 資源評価における将来予測の不確実性が大きい理由を説明し、将来予測の幅を縮小できるように検討してほしい。その上で、当該不確実性や資源の利用実態を踏まえ、管理の柔軟性で対応できるような方策（例：適切な管理目標の設定、TACの変動緩和等）を検討してほしい。
- ③ 現状の漁獲圧を継続しても、MSYを実現する資源量を達成できる確率が100%であるにも関わらず、TAC管理を導入する必要性を説明してほしい。

2. マガレイ北海道北部系群

- ① 資源の利用実態（例：低い魚価により必ずしも本資源を狙って漁獲していない）や、小型魚の獲り控え等の自主的管理の取組の効果が、資源評価の中で考慮されていない懸念があり、この点を丁寧に説明するとともに、改善してほしい。
- ② 資源評価における将来予測の不確実性が大きい理由を説明し、将来予測の幅を縮小できるように改善してほしい。その上で、当該不確実性や資源の利用実態を踏まえ、管理の柔軟性で対応できるような方策をソウハチと同様に検討してほしい。

以上について、今後の課題として検討されることとなった。